

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成26年8月7日(2014.8.7)

【公開番号】特開2013-35244(P2013-35244A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2011-175152(P2011-175152)

【国際特許分類】

B 3 2 B 5/24 (2006.01)

B 6 0 R 13/02 (2006.01)

B 2 9 C 43/18 (2006.01)

B 2 9 K 101/12 (2006.01)

B 2 9 K 105/04 (2006.01)

B 2 9 K 105/08 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 5/24 1 0 1

B 6 0 R 13/02 B

B 2 9 C 43/18

B 2 9 K 101:12

B 2 9 K 105:04

B 2 9 K 105:08

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月23日(2014.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

繊維強化樹脂用シートと樹脂発泡体シートとを貼りあわせた繊維強化樹脂成形体であって、

前記繊維強化樹脂用シートは、前記樹脂発泡体シートの両側の主面上にそれぞれ配置されており、少なくとも一方の前記繊維強化樹脂用シートの前記樹脂発泡体シートと接していない側の主面上に樹脂発泡体又は繊維集合体で構成された被覆層が設けられており、所定の形状に圧縮成形されている繊維強化樹脂成形体。

【請求項 2】

前記繊維強化樹脂用シートは、低融点ポリマー成分と高融点ポリマー成分を含む複合繊維で構成され、前記複合繊維が一方に配列された一方向シートを 1 層以上含み、前記低融点ポリマー成分と前記高融点ポリマー成分は熱可塑性合成樹脂且つ同種のポリマーであり、

前記繊維強化樹脂成形体において、前記低融点ポリマー成分はマトリックス樹脂となり、前記高融点ポリマー成分は強化繊維となる請求項 1 に記載の繊維強化樹脂成形体。

【請求項 3】

前記樹脂発泡体シートは、ポリオレフィン発泡体シートである請求項 1 又は 2 に記載の繊維強化樹脂成形体。

【請求項 4】

前記被覆層が、ポリオレフィン発泡体シート又はポリオレフィン系繊維集合体で構成さ

れている請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の繊維強化樹脂成形体。

【請求項 5】

前記繊維強化樹脂用シートは、前記一方向シートを 2 層以上含む多軸挿入たて編み基材である請求項 2 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の繊維強化樹脂成形体。

【請求項 6】

前記圧縮成形の温度が、前記低融点ポリマー成分の融点以上前記高融点ポリマー成分の低融点未満である請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の繊維強化樹脂成形体。

【請求項 7】

前記被覆層の表面にさらに表皮材が配置されている請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の繊維強化樹脂成形体。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の繊維強化樹脂成形体で構成されている車両用内装材。

【請求項 9】

前記車両用内装材は、車両用天井材である請求項 8 に記載の車両用内装材。